

5 友達といっしょに遊びに行く

1. 「私のクラスのインターアクション」の例



例 1)	どんな場面？	授業以外の時間に学習者が知り合いと会い、遊びに行く計画を立てる。 (事前に電話かメールで誘い、会う約束をする。)
	誰と？	学習者の知り合い
例 2)	どんな場面？	留学生と日本人学生の交流会の企画を立てる。 ・ 交流会のテーマ、活動内容、予算、場所などを話しあって決める。 ・ 交流会の企画をクラスで発表し、最も人気のあったプランを実行する。
	誰と？	同じ学内の日本人学生
例 3)	どんな場面？	メール、SNS、チャット、ビデオ通話ツールや電話などのメディアを使ってやりとりし、遊びに行く計画を立てる。
	誰と？	学習者の知り合い



話しあって予定や計画を立てる。

2. デザインのポイント／注意点

- この課の目的の1つは、知り合いや友達との関係を深めるきっかけを作ることです。そのきっかけとして、いっしょに遊びに行ったり活動したりする計画を立てます。そのため、「どんな場面？」では、教室内の架空の活動にとどまらないように、決めた予定や計画を実際に行うことができるように活動をデザインします。授業活動の一環として実施するのが難しい場合も、授業外で実施できるように、非現実的な予定や計画ではなく、実施可能な予定や計画を立てるようにするといいでしょう。
- 「誰と？」には、授業外でも一緒に活動しやすい学習者の知り合いや友達を考えるといいでしょう。また、教師がインターアクションの相手を準備する場合（ビジターを招待するなど）は、できるだけ以前交流したことがある人と活動ができるように工夫するといいでしょう。例えば、1課の交流パーティーで知り合った学生を呼ぶ方法があります。また、事前に授業外で会う機会を作り、そのあとに活動を行うなどのデザインも有効です。どうしても初対面になってしまう場合は、活動実施の最初に交流を深めるゲームやタスクを行い、できる限り関係を作ってから活動を始めるようにします。

- 教科書では取り上げていませんが、対面でのやり取りが難しい環境の場合は、電話やメールを使った活動にすることも可能です。

3. 活動の流れの例

教科書(p. 86)のインターアクションの例をクラス活動として行う場合の一例をご紹介します。ここでは、授業時間内に教師が準備した日本人ビジターと活動する方法を取り上げます。授業時間外に学習者が選んだ友達と活動を行う場合は4課をあわせて参照してください。

(1) 事前準備

- 1課でビジターとして交流パーティーに参加してくれた日本人学生に連絡をします。
 - *同じ学生に来てもらうため、最初に募集をする際、5課の募集についても連絡をしておきます。その際、日本人学生が参加しやすいように、1課と5課の活動日を同じ曜日、時間にするなどの調整が必要です。
- 活動のペア／グループを決めます。
 - *1課の交流パーティーで知り合った人同士を組み合わせます。
 - *学習者が一緒に遊びに行きたいと思うことが大切なので、ペア、グループを決めるときは、学習者の希望を聞くといいでしょう。
- 留学生と日本人学生と一緒に情報を調べることができるように、環境や資料を整えます。
 - *情報を調べるときに、インターネットが使えるコンピューターかタブレットがあると便利です。また、必要に応じて本、雑誌、パンフレットなどを用意します。
- 活動に必用なものを準備します。(ネームカード、ICレコーダーなど)
- 日本人学生に配布する資料を準備します。
 - *配布資料には「活動の目的」「当日の活動の流れ」「注意点」などを書いておきます。

(2) 活動の流れ (90分の場合)

時間配分	活動の進め方		備考
10分	準備	◆教室のセッティングをする。	・配布資料
	活動の説明	◆教師が日本人学生に活動内容、活動時の注意点を説明する。 *遅刻する学生、話を聞いていない学生がいるので、活動の目的、授業の流れ、注意点などを書いた配布資料を渡すとよい。	
15分	活動①	◆フリートーク① (ペア／グループ) 活動②を行うペア／グループで、ウォーミングアップとして自由に話す。 *知り合って問もない人同士の場合は特に重要。 *学生のレベルやクラスの雰囲気に合わせて、教師が決めた活動を入れてもいい。	・評価対象としない

時間配分	活動の進め方		備考
30～ 45分	活動② 「本番」	<p>◆学習者が日本人学生を誘って、遊びに行く計画を立てる。(ペア/グループ)</p> <p>*決まったことをタスクシートなどを書いて提出するようにするといふ。</p> <p>【タスクシートの項目例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊びに行く日 ・行き先(その場所に決めた理由) ・行き方/待ち合わせの場所 ・当日のタイムスケジュール ・食事の場所 ・予算 	<ul style="list-style-type: none"> ・録音する ・評価対象とする
15分	活動③	<p>◆フリートーク②</p> <p>ペア/グループを変えて自由に話す。</p> <p>*できるだけいろいろな人と話すチャンスをつくり、関係を作る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・評価対象としない
5分	後片づけなど		

(3) フォローアップタスク

- 授業外活動として、計画を立てた所に遊びに行くようにします。行ったあと、写真を見せながら遊びに行った所をクラスで紹介します。
- 遊びに行った相手にお礼のメールを出します。
 - *実際に遊びに行くのが難しい場合は、活動②で決めた計画をクラスで紹介するという活動でもいいと思います。

4. 活動実施のポイント/注意点

- 予定や計画を立てるときは、インターネットや本などで情報を調べることができる環境で行うと、具体的に計画を立てることができます。
- 授業内で活動を行う場合は、時間が限られています。この課のように知り合いや友達と話すことがメインの活動になる場合、ただのおしゃべりになり、時間内に目的が達成できないことがあります。活動の準備・練習の際に話しあう項目を確認し、活動実施中または実施後に決まったことをタスクシート(上記の【タスクシートの項目例】参照)などを書いて提出するようにすると、目的が達成しやすくなります。
- 予定や計画を立てる際には、相手との折衝/交渉が生じます。円滑なインターアクションには、相手に配慮しながら自分の意見を言ったり、提案したりすることが必要です。活動の前に、この点を確認するといひでしょう。(→PART 2)
- 振り返りでも使用するため、できるだけICレコーダーで録音するといひでしょう。その際、相手に録音の許可を取るようにしてください。